

学校運営委員会だより

今回の参加者

委員 酒井、中野、直田、天野、草開（オンライン）

職員 校長、副校長、村上教務主幹、田嶋生活指導主任

1. 会長あいさつ

本会は学校運営の透明性を高め、保護者・地域と学校が協働するための場です。今回は、行事の振り返り、生活指導、ICT活用、働き方改革、地域連携などについて協議します。

2. 学校からの報告事項

(1) 合唱コンクールの振り返り

学校から「今年度の合唱コンクールは『絆』をテーマに、生徒主体で成功裏に終了した」と報告がありました。

保護者アンケートでは「感動した」「声量が素晴らしかった」との評価が多く、一方で「撮影ルールが不明確」「開催曜日への要望」も寄せられたと報告されました。

来年度は10月23日（金）開催予定で、撮影ルールの明文化と運営体制の改善を進めるということです。

(2) 生活指導・服装ルール

学校から「セーターでの登下校を10月20日から11月14日まで試行中」と報告がありました。試行後に再アンケートを実施し、来年度以降の正式運用を検討することです。

(3) iPad利用ルールの見直し

学校から「学習目的を明確化するため、11月～12月にルール見直しの協議を行う」と報告がありました。

保護者からは「家庭でのフィルタリングや時間管理を強化してほしい」との要望があり、学校は「禁止アプリの明文化と運用徹底を進める」と説明しました。

(4) お弁当型給食の試行

学校から「レジャーシートを使ったお弁当型給食を試行し、生徒・教員ともに好評だった」と報告がありました。今後、保護者意見を踏まえ、次回の合唱コンクールでも実施を検討することです。

(5) 来年度の行事計画（案）

学校から「運動会は5月16日（土）、合唱コンクールは10月23日（金）を予定」と報告がありました。

また、9月の過密解消のため、職場体験を11月に移動する案や、中間テストの全学年同時実施案も検討中のことです。

(6) 働き方改革の取組

学校から「学校徴収金のデジタル化を試行中で、来年度から本格導入を目指す」と報告がありました。また、部活動の外部指導者活用やICTによる情報共有の効率化を進めているとのことです。

(7) キャリア教育と非認知能力の育成

学校から「『マンスリーキャリア』などの記述活動を通じて、自己肯定感や主体性を育てる取組を継続している」と報告がありました。

保護者からは「書く力を育てる活動を評価する声」が多く寄せられています。

(8) 地域連携と三校共同

学校から「『ようがの街で子どもを育てる』をテーマに、地域と学校の協力体制を整備中」と報告がありました。学校関係者評価については今回の方針に沿って学校の自己評価も取り入れるが、評価の客観性、透明性をこれまで通り大切にしていくよう委員から要望しました。

3. 委員からの意見・質問

委員から「合唱コンクールの撮影ルールは、保護者にわかりやすく周知してほしい」と意見がありました。

委員から「iPadの利用目的を明確にし、家庭での管理方法も具体的に示してほしい」と質問しました。

委員から「お弁当型給食は衛生面や安全面の評価も必要」と意見がありました。

委員から「働き方改革の取組について、保護者にもわかる形で情報発信してほしい」と要望がありました。

委員から「地域を支えるしくみについて、任期の再確認や、学校関係者評価の分析方法の公正性、透明性について区に再確認をしてほしい」と要望がありました。

4. 今後の予定（抜粋）

10月28日～：3年生進路面談開始

11月2日：YCCフェスティバル（生徒ボランティア参加）

11～12月：iPadルール見直し協議

11月14日：セーター登下校試行終了・アンケート実施

12月5日：次回学校運営委員会開催予定

5. 委員長コメント

学校と地域、保護者が一緒になって子どもたちを育てるために、こうした話し合いを重ねています。ご意見やご質問がありましたら、ぜひ学校または委員会までお寄せください。